



山辺町は森林面積が51%を占め、玉虫沼や大沼、荒沼、琵琶沼などの湖沼群が広がる「森と湖沼のふるさと」です。この豊かな自然、森林を守り、育むために今年度は「豊かな森づくり」、「木に親しむ環境づくり」に重点を置いた事業を展開しました。

令和6年度活動紹介

豊かな里山保育事業

町内の「白坂峠」は、小学校の自然学習や山菜採り、トレッキング等で利用される里山散策路です。地域活動団体の皆さんと協力し、森林病虫害による倒木や積雪による枯損木等の撤去などの事前整備や下草刈りなどへの支援を行いながら、白坂峠の利用しやすい環境づくりに力を入れています。

【相模公民館を主体とした地域活動団体の皆さん】



【参加者打ち合わせ】



【作業の様子】

県産材普及啓発事業

森林の持つ多面的な機能による恩恵や県産木材の普及・啓発を図るため、町内の小学校にて木育に関する出前講座を行いました。

講座の中では、森林の持つ様々な機能について考える機会を設け、その恩恵や働きについて学びました。その後の授業では、木工品の加工に挑戦し、木材の良さや材質を体験しました。

【山辺小学校】



【相模小学校】



今後の展開

「人と自然の共存・共生創出の里山再生プロジェクト」(山辺町里山再生アクションプラン)を柱として、地域住民との協同による自然との共存・共生の推進や町内小・中学校での木育出前講座を実施し、町民や子ども達が森林や木材と接する機会や体験を増やし、森林の多面的な機能やその恩恵が感じられるような取組みを推進します。